学校番号	1009

令和８年度　福祉科

教科	(専)福祉	科目	手話・点字	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーションの手段として手話・点字を学び、それ以外にも聴覚障害・視覚障害について学習します。実際に障がい者の方から、実体験を聴くことにより理解を深めます。

2　学習の到達目標

1）手話のルールおよび点字のしくみについての知識を深め、基本的な手話及び点字の読み取りができるようになる。
2）自分の表現したい文字や文章を手話や点字のルールを踏まえて､適切に表現できるようになる。
3）聴覚障害、視覚障害について理解し、生活や社会の中でそれらの障害をもつ人とどのような手段でコミュニケーションをとることができるかを主体的に考え行動する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・手話を用いて、コミュニケーションをとることができるか ・点字を用いて、文字を打つことができるか ・聴覚障害、視覚障害についての知識が身についたか	・手話の単語が組み合わさった複雑な文章表現を読み取ることができるか ・正しく点字のルールを理解し、点字の文章を読み書きすることができるか ・聴覚障害、視覚障害の方との関わり方が身についたか。また、実際に関われたか	・聴覚障害について理解し、どのような関わり方がよいか考えることができる ・視覚障害について理解し、どのような関わり方がよいか考えることができる

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	手話	・聴覚障害とは ・身の回りにあるものの手話 ・動きからわかる手話 ・自己紹介、家族紹介 ・学校に関する手話 ・趣味に関する手話 ・時間に関する手話	a:手話を用いて、コミュニケーションをとることができるか a: 聴覚障害、視覚障害についての知識が身についたか b:手話の単語が組み合わさった複雑な文章表現を読み取ることができるか b: 聴覚障害、視覚障害の方との関わり方が身についたか。また、実際に関われたか c:聴覚障害について理解し、どのような関わり方がよいか考えることができる	定期考査	定期考査	発表 小テスト 提出物
2	手話	・職に関する手話 ・アルバイトに関する手話 ・手話スピーチの発表	a: 手話を用いて、コミュニケーションをとることができるか a: 聴覚障害、視覚障害についての知識が身についたか b:手話の単語が組み合わさった複雑な文章表現を読み取ることができるか b: 聴覚障害、視覚障害の方との関わり方が身についたか。また、実際に関われたか c:聴覚障害について理解し、どのような関わり方がよいか考えることができる	定期考査	定期考査	発表 小テスト 提出物
	点字	・視覚障害とは ・点字のルール ・点訳(文章作成)	a:点字を用いて、文字を打つことができるか a: 聴覚障害、視覚障害についての知識が身についたか b:正しく点字のルールを理解し、点字の文章を読み書きすることができるか b: 聴覚障害、視覚障害の方との関わり方が身についたか。また、実際に関われたか c:視覚障害について理解し、どのような関わり方がよいか考えることができる	定期考査	定期考査	小テスト 提出物
3	点字	・点訳(文章作成)	a:点字を用いて、文字を打つことができるか a: 聴覚障害、視覚障害についての知識が身についたか b:正しく点字のルールを理解し、点字の文章を読み書きすることができるか b: 聴覚障害、視覚障害の方との関わり方が身についたか。また、実際に関われたか c:視覚障害について理解し、どのような関わり方がよいか考えることができる	定期考査	定期考査	小テスト 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度